

令和7年度 校内研修のまとめ

1. 今年度の研究を終えて、来年度「主体性を育む」ためにやってみたい手立て

明確なゴールを示す・児童も見通しを持てる単元計画を立てる

- ・一斉授業と個別授業のバランス
- ・けでぶれ
- ・自由進度学習

「できる!」「やってみたい!」と思える(意欲が高まる)ような、児童の興味や実態を踏まえた
課題設定

- ・児童が自ら選択して取り組める課題
- ・教え、学び合える(話し合える)授業づくり

試せる場・時間の確保

- ・試行錯誤をした上で取り組む作品づくり
- ・試した成果物の掲示

学習のふりかえり

- ・ふりかえりの時間の確保
- ・ふりかえりワークシート、ポートフォリオの活用
- ・児童同士でふりかえりを共有し合う

児童との評価の共有

- ・児童用ループブリック

その他、
今年度行ったどの取り組みもブラッシュアップして行いたい、
継続して行いたい、児童が苦手な単元であえて取り組む 等
のご意見を頂きました。

2. 今年度の研究のあり方について

【良かった点】

- ・例年よりも負担やプレッシャーが少なかつたように思う。
- ・学年ごとに研究を行えたのは良かった。
- ・学年の実態に合った教科や手立てを考えることができたので良かった。
- ・焦点となる授業だけでなく、単元全体のレベルアップにつながったと思う。

【改善点】

- ・学年によって取り組み方に差が出ていた。
- ・予定が合わず、他学年の授業を参観することができなかった。
- ・他学年の先生に授業を見てもらい、意見をいただきました。
- ・授業を参観していないため、実践報告会の時間が短いとどのような実践をしたのかわかりにくい。
- ・学び部会の先生に負担があった。
- ・授業公開が必須なのかが曖昧だった。
- ・指導略案の型をもっと早く欲しかった。
- ・「主体的な態度」のイメージにはらつきが見られた。
- ・児童の変容を学校として確認するために、主体性アンケートの統一が必要。

3. 来年度はどのように校内研究をすすめていきたいですか

- 研修を行うグループについて

- (案1) 今年度と同じように、学年ごとにグループを組む。
- (案2) 学年を越えて、研究したい教科ごとにグループを組む。
- (案3) 個人で取り組む。
- (案4) 全校で教科を統一する。

- 研修日について

- (案1) 今年度と同じように、グループごとに研修日を設定する。
- (案2) 月1回、研修日を設ける。

- 授業を公開したら、協議会を開き、他グループの先生からの意見を聞きたい。

- 授業公開後、協議会や実践報告会を早めに開いてほしい。

- 外部講師の先生を呼び、ご指導をいただきたい。

- 仮説を全校で統一する。

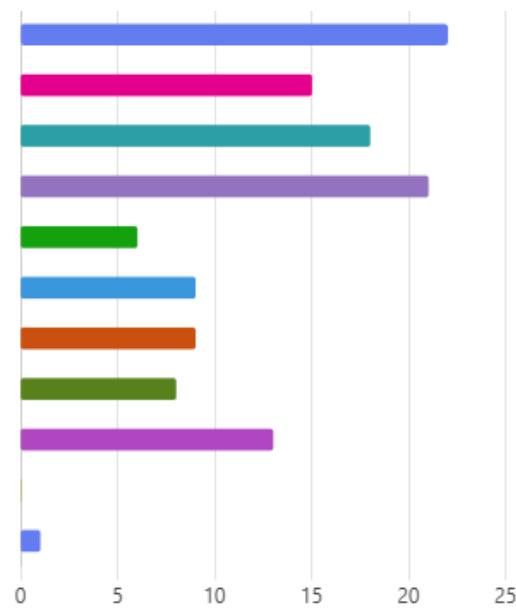
- 主体性アンケートを統一する。

- 全校で取り組む手立てを焦点化（全学年ふりかえりを書くなど）する。

従来の方法と今年度の方法、新たな方法、
それぞれメリット・デメリットがあるので悩ましいという意見
を多数いただきました。それらを踏まえた上で、来年度に向けて
話し合いたいと思います。

4. 校内研究に対するイメージ

自分の経験（成長）につながる	22
学年でまとまる機会になる	15
自分の授業を振り返ることができる	18
他の先生の授業を見ることができる	21
楽しい	6
おもしろい	9
大変・負担感	9
義務感	8
準備に時間がかかる	13
つまらない	0
その他	1



今年度、校内研究へのイメージが少しでもプラスに変わってくれたらうれしいです。

時間の確保など、課題はまだあります、先生方が「やってみたい」と思えるような研究にして
いきたいと思いますので、あと1か月、来年度に向けてご意見よろしくお願いします！